



ネイチャーセンターだより

2021年2・3月号

新・いきもの図鑑



ワタリガラス（カラス科）

ワタリガラスは、カラス科の中で最も大きく、全長が61cmとオオセグロカモメと同じくらいあります。くちばしが長くて大きく、喉の羽毛がざくざくしているのが特徴です。また、飛んでいるときは他のカラスと違い、尾羽がクサビ形に見えます。鳴き声は、「コホッ」など遠くからでも聞こえる特徴的な声を出し、声でそれとわかることもあります。

分布は、アフリカ北部からヨーロッパ、中近東、ロシア、北アメリカ、グリーンランドと広く、日本には、冬鳥として北海道東部と北部の荒地や海岸の岩礁地や内陸部に渡来します。雑食性で動物の死骸や果実などを食べます。根室では、氷下待ち網漁のまわりの雑魚やエゾシカの死体を食べていることもあります。

【参考文献】

中村浩志. 1997. 日本動物大百科4鳥類II. 平凡社. 東京.
日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会. 三田.
高野伸二. 2015. フィールドガイド日本の野鳥増補改訂新版. 公益財団法人日本野鳥の会. 東京.

NEWS

しゅんくにたい 春国岱でワタリガラスが見られました

1月22日、キタキツネコースの終点で上空を飛ぶ1羽のワタリガラスと出会いました。ワタリガラスは、「コホッ、コホッ」と大きな声で鳴きながら、第1浜提まで飛んでいきました。キタキツネコースから700mくらい離れた海岸からは、その鳴き声が響いていました。

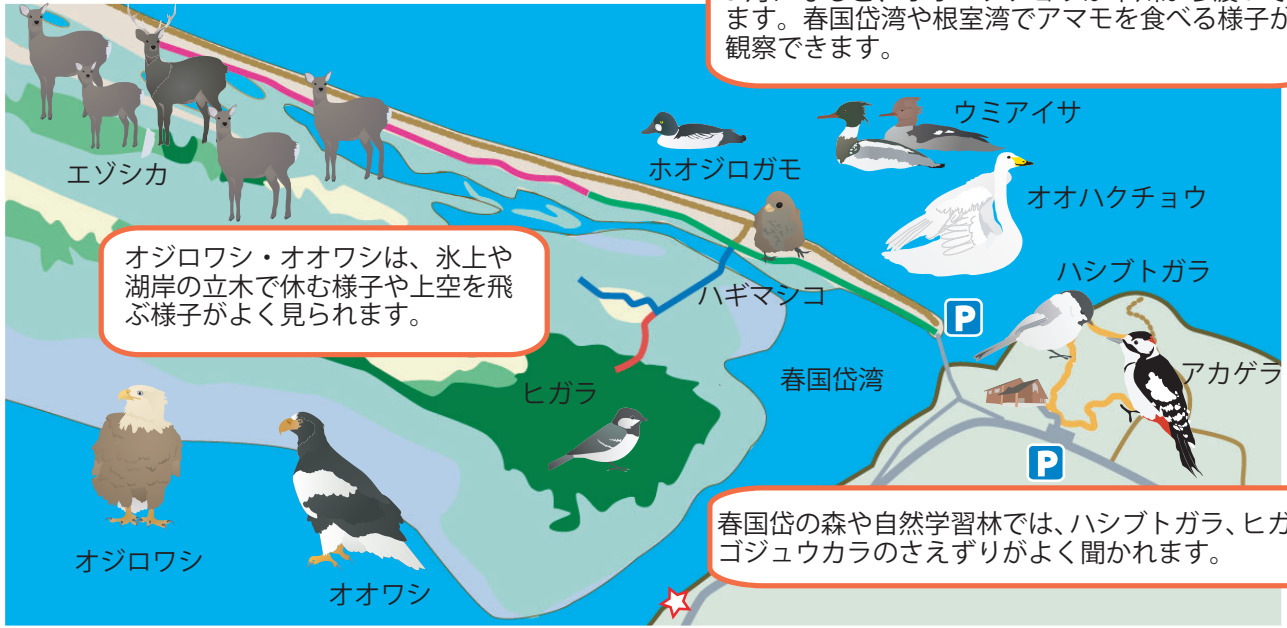
しゅんくにたい
春国岱周辺では、主に12月から4月まで見られます。特に1月から2月は出会う確率が高く、春国岱ではアカエゾマツ・キタキツネコースの分岐点の周辺、東梅自然学習林の海岸沿いでよく観察されます。この2つの場所は、ワタリガラスが好む開けた環境なので観察されることが多いのだと思います。

ワタリガラスは、渡来する数が少なく、またハシボソガラスやハシブトガラスとよく似ているため、中々見つけることができません。この時期は、カラスをじっくり観察することをおすすめします。



写真 1月22日、キタキツネコースで撮影したワタリガラス

見どころMAP



3月になると、オオハクチョウが本州から渡ってきます。春国岱湾や根室湾でアマモを食べる様子が観察できます。

オジロワシ・オオワシは、氷上や湖岸の立木で休む様子や上空を飛ぶ様子がよく見られます。

春国岱の森や自然学習林では、ハシブトガラ、ヒガラ、ゴジュウカラのさえずりがよく聞かれます。

- 観察路(ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路(ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路(キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路(アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路(小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路(春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

2・3月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	2月	○	2月は、風蓮湖内のワシ類の個体数が最も多くなる月で、特に多いのは、中旬頃。昨年は、2月14・15日に794羽を確認した。
	3月	○	3月になると、オオワシ、オジロワシは北へ渡り始めるため、個体数が減り始める。また、一部のオジロワシは、繁殖の準備に入る。
タンチョウ	2月	・	2月は、給餌場がある鶴居村などで越冬しているため、風蓮湖内で目にする機会は少ない。
	3月	+	3月上旬頃になると、風蓮湖に戻ってきて、繁殖の準備に入る。
オオハクチョウ	2月	+	2月は、風蓮湖内の凍っていない水面付近や海上で見られることが多い。今季は、約40羽ほどが残っている。
	3月	○	3月になると、本州北部などの越冬地から渡ってくるため、個体数が増える。昨年は、3月12日に風蓮湖内で2,601羽確認された。
カモ類	2月	○	2月は、風蓮湖や根室湾でホオジロガモ・ウミアイサ・カワアイサがよく観察できる。また、沖では、クロガモやビロードキンクロの小群が時々見られる。
	3月	○	3月には、南からヒドリガモ・オナガガモ・スズガモが渡来する。
カモメ類	2月	○	オオセグロカモメ・シロカモメが風蓮湖や根室湾でよく見られ、カモメ・ワシカモメが見られることもある。
	3月	○	
春国岱	森	2月	ヒガラやハシブトガラ、ゴジュウカラのさえずりが聞こえるようになる。運が良いとクマガエラに出会うことがあり、ドラミングが聞こえるかもしれない。 ※シマエナガは、今年はあまり見かけない。
		3月	
	草原	2月	ハギマシコの群れが見られている。昨年度は、3月まで見られた。キタキツネコース周辺ではワタリガラスを目撃することがある。 ※ユキホオジロは、ここ3年ほど記録がない。
		3月	
自然学習林	2月	ハシブトガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラなどのさえずりが聞こえるようになる。また、キツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られる。	
	3月		

高病原性鳥インフルエンザについて

11・12月号でお知らせした高病原性鳥インフルエンザですが、その後もウイルス（H5N8 亜型）が各地で確認されています。2月9日現在、養鶏場では17県で合計47例が発生しています（ウイルスの亜型が確定していない疑い事例を含む）。病気の蔓延を防ぐための法律により殺処分された家禽（ニワトリやアヒル）は合計900万羽以上にのぼり、これは過去最大の数になっています。

野外では、8道県で合計10種類17例の死亡・衰弱した野鳥が確認されており、野鳥の糞便からは5県で7例、水からも3県で18例（地点数としては4地点）が見つかっています。野鳥の内訳は、次のとおりです。

オオハクチョウ1（福島県）、マガモ3（宮崎県、鹿児島県）、オナガガモ1（宮崎県）、オシドリ2（和歌山県、鹿児島県）【以上、カモ科合計7例】／ナベヅル3（鹿児島県）／オオタカ1（奈良県）、オジロワシ1（北海道）、ノスリ2（宮崎県、鹿児島県）、フクロウ1（埼玉県）、ハヤブサ2（北海道、岡山県）【以上、猛禽類合計7例】

北海道内で高病原性鳥インフルエンザのウイルスが発見されたのは、2／9現在で野鳥糞便1（カモ類、紋別市10/24）、オジロワシ（1/27 旭川市）、ハヤブサ（1/18 帯広市）の3例にとどまっています。しかし、これから春の渡りの時期に入り野鳥の移動が活発になると、無症状でウイルスを持っている野鳥が高病原性鳥インフルエンザに弱い鳥（ハクチョウ類や猛禽類など）に接触したり捕食されたりすることにより、感染して衰弱・死亡したり、飼鳥が被害を受けるおそれがあります。

★注意事項

高病原性鳥インフルエンザは、通常の野鳥観察で野鳥から人にうつったり、また加熱された鶏肉や卵を食べることで人にうつったりする病気ではありません。しかし、春国岱などの水辺で野外観察をする場合には、ウイルスを広げないために、次のようなことにご注意ください。

1. 生きている野鳥や野鳥の死体には、不用意に近づかない。素手でさわらない。
2. 野鳥のフンや羽毛が落ちていそうな場所には近づかない。もしフンや羽毛にさわった場合には、流水とせっけんで手をよく洗い、うがいをする。
3. 野外観察の後は、くつの底や車のタイヤをしっかりと洗い、できればアルコールなどで消毒する。
4. 野外観察のあと、消毒をせずに他の生息地や、動物園や農場など鳥を飼育している場所には立ち寄らない。
5. 弱った野鳥や死んだ鳥を見つけた場合は、可能なら、根室振興局に連絡をする（電話 0153-23-6823）。

春国岱クイズ

フクロウの仲間のうち、世界で最も大きいシマフクロウ。日本では北海道だけに生息し、大木のある森に1年じゅう住んで、木の幹にできたうろ（洞穴）に巣をつくりまします。3月には巣で卵を産み、子育てが始まります。

メスとオスは協力してひなを育てますが、羽の色はメス・オスに違いがなく、つがい2羽でならぶとメスの方が横幅があり、少し大きいことで見分けられます。

しかし春の一時期だけ、オスの羽の色がうすくなることがあるそうです。これは、どういう理由によるもののでしょうか？

- ① 泥でお化粧したから
- ② 日焼けしたから
- ③ 色がうすくなるものを食べたから



シマフクロウ

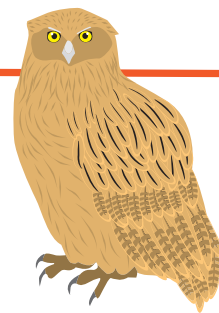
春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

●行事参加者募集!

◆フィールド講座 2021

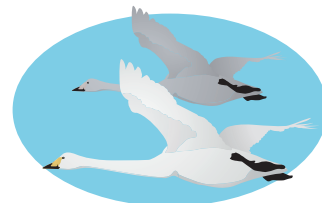
【シマフクロウを守りたい! 日本野鳥の会の野鳥保護区の歩み】

- ・2月27日(土) 13:00~15:00 ネイチャーセンター2階視聴覚会議室
- ・対象: 小学校高学年~大人 ・定員: 20名(事前申込制: 2月26日(金)まで受付)
- ・参加料: 無料
- ・講師: 松本潤慶さん(公益財団法人日本野鳥の会)
- ・概要: 公益財団法人日本野鳥の会は、シマフクロウなどの希少な野鳥の生息地を守るために、生息地を買い上げて「野鳥保護区」を設置する、という活動に取り組んできました。この活動の成果とこれからの展望について、長年事業を担当してきた松本さんに話を聞きます。



【北海道東部のオオハクチョウの動向】

- ・3月14日(日) 13:30~15:00 ネイチャーセンター2階視聴覚会議室
- ・対象: 小学校高学年~大人 ・定員: 20名(事前申込制: 3月12日(金)まで受付)
- ・参加料: 無料
- ・講師: 澁谷辰生さん(厚岸水鳥観察館)
- ・概要: 澁谷さんから厚岸町周辺のオオハクチョウの動向を講演して頂き、当センターからは、風蓮湖・温根沼のオオハクチョウ個体数調査の結果をお話させていただきます。



◆ねむろの野鳥イラストコンテスト作品展

- ・会期: 3月6日(土)~5月5日(水) ・会場: ネイチャーセンター1階
根室市、別海町、中標津町、浜中町の児童生徒が描いた作品457点を展示します。

募集!

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを常時募集しています。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回、ミーティングを行い(基本的に最終火曜日)、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象: 18歳以上
- ◆年会費(ボランティア保険料含む): 1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように...

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ 答 ②日焼けしたから 日光が入る、広葉樹の森の中で見られる現象だそうです。
出典: 山本純郎. 1999. シマフクロウ. 北海道新聞社、札幌。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

HP. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日: (開館時間 9:00~16:30)

2月3・10・12・17・24・25日 3月3・10・17・22・24・31日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内やスライド上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録